

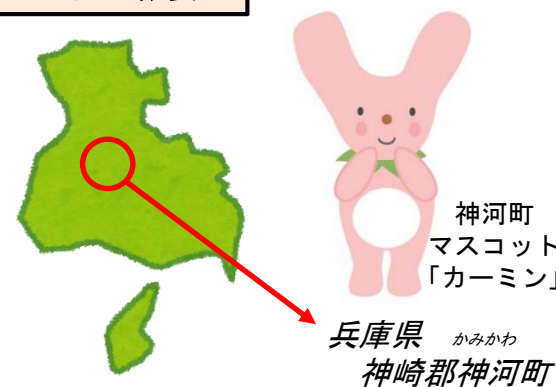
取組の概要

取組の概要 : 高性能機械及び新品種の導入により、大豆の単収向上と生産コスト削減
 計画作成主体 : 神河町地域農業再生協議会
 対象品目 : 大豆（産地面積：12.0ha）
 取組主体 : 株式会社 中村営農
 成果目標 : 生産コストの10%以上の削減
 助成金の活用 : 生産支援事業（普通型コンバインのリースによる導入）

ポイント

需要が高まっている大豆作のより一層の高収益化を図るため、バータイプ脱穀機構コンバインの導入により大豆収穫ロスを低減するとともに、併せて難裂莢（なんれっきょう）性品種（サチユタカA1号）へ転換すること等で単収を向上させ、生産コストを削減。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状：H27年度〉

作付面積：5.6ha
 生産コスト：35,272円/60Kg

〈目標：H30年度〉

作付面積：12.0ha
 生産コスト：25,915円/60Kg



（大豆収穫風景）

推進体制

地域の関係者（神河町、姫路農業改良普及センター、J A 兵庫西）が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

経営面積の拡大
 不耕起狭条密植の面積拡大

〈地域独自取組〉

難裂莢品種の導入による単収向上



事業効果

- 新たな高性能コンバインの導入により、
 - ・収穫作業速度が向上し、大豆作付面積を拡大しつつ、適期収穫を実現
 - ・割れや傷が減少し、収穫ロスを低減
- コンバイン導入と併せて新品種「サチユタカA1号」を導入し、裂莢を抑制

産地における大豆の生産コストの10%以上削減を実現

